

2010年度

科目名	観光ビジネス				
担当教員	吉井 秀一				
配当	人社3		コード	53700	
開期	前期	講時	金曜日3限	単位数	2
授業テーマ	観光ビジネス最前線				
目的と概要	<p>観光ビジネスの最前線が現在どうなっているのかを、できる限り現場を見たり関係者のお話を聞きながら考えていきます。観光ビジネスを理解するためのキーワードは「時代」と「景気」です。業界を代表する事業のひとつである旅行業を例にとってみると、このビジネスの誕生と成長は18世紀の産業革命と深くかかわっています。産業革命がイギリスにもたらした富と余暇、鉄道網の発達や輸送事業の進展なくして旅行業の発展はありませんでした。その旅行業も、社会が成熟し人間が裕福になって個人主義が深まった現代では、かつての隆盛を支えた団体パック旅行がお客様(=消費者)のニーズに合わずに嫌われ、体験やテーマ性を前面に出すニューツーリズムが出現してきたのです。</p> <p>一方、観光ビジネスの経済効果を重視するわが国は、観光立国を宣言して観光庁を創設しました。2009年12月に政府が策定した経済成長戦略「輝きのある日本へ」では「観光・地域活性化」を「環境・エネルギー」などと共に重点項目に挙げています。日本の将来を担う産業の柱のひとつと位置付けたわけです。</p> <p>机上の学習だけではない授業を通して観光ビジネスの将来を探ります。</p>				
成績評価法	学期末にレポートを提出(60%)＋平常点(40%)				
テキスト	特に定めません。				
参考書	必要に応じて紹介します。				
履修に当たっての注意・助言	観光ビジネスは時代の流れと密接に関連しています。世の中の流れをつかむために新聞を読んだり、テレビのニュースを見ておいてください。話題性のある記事は授業でも随時取り上げます。観光は本来楽しく、リラックスできるものです。楽しくやりたいと思っています。				
講義計画					
第1回	オリエンテーション				
第2回	観光の現状				
第3回	国策としての観光—観光立国と経済波及効果				
第4回	旅行業(1)—誕生と発展の歴史				
第5回	旅行業(2)—現状と法的規制				
第6回	旅行業(3)—経営課題				
第7回	旅行業(4)—ニューツーリズムの登場と課題				
第8回	最前線で起きていること(1)—地域起こし				
第9回	最前線で起きていること(2)—関西3空港問題				
第10回	最前線で起きていること(3)—JAL再建				
第11回	課外事業—現場を訪ねる				
第12回	最前線で活躍する(1)—体験講演①				
第13回	最前線で活躍する(2)—体験講演②				
第14回	最前線で活躍する(3)—体験講演③				
第15回	まとめ—将来展望と課題				